

令和5年度

保谷小学校 6年生

地域とともにある学校づくり

コミュニティ・スクールの充実

# 西東京ふるさと探究学習

単元名： 「手をつなごう」  
(活動名)

ねらい： 保谷小学校の歴史を学びながら、地域の人とどのように関わってきたのかに触れる。そして、現在の保谷小学校と地域の関りについて考え、支えられていることに気づき、感謝の気持ちを還元する方法を考える。



【11月2日】  
各学級で作成した学芸会のポスターを配布に行かせていただきました。

緊張した面持ちの子どもたちでしたが、温かい言葉をかけていただき、ホッとした表情でした。たくさんの方に来ていただくと嬉しいです。



【11月4日】  
学年皆で作ったポスターを確認しています。

ポスターを一枚一枚点検し、校内や体育館に掲示するものを決めました。校外に貼るものもあるので、間違いがないか慎重に選びます。



【11月11日・展覧会】

子ども学芸員として多くの来場者に作品の説明、会場案内を行いました。最初は緊張している様子でしたが、時間が経つにつれて笑い合う姿が見られました。「お客様が真剣に聞いてくれて嬉しかった。」「質問してくれたので会話が弾んだ。」「地域の方は皆優しくかった。」という感想が挙がり、満足いった一日でした。



## まとめ

地域や保護者の方々に日ごろの感謝を示すとともに、保谷小学校の良さを知ってもらおうと始めた企画でした。話し合い当初は「何をすれば良いですか?」「どこから手を付けたら良いか分からない。」と戸惑っていた児童達も『感謝』という言葉から企画を広げることができました。3学期も引き続き地域のためにできることを考えます。